

2023年3月期 第1四半期決算説明(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外のCKD中国工場の現在の状況

A: いずれの工場も高い稼働状況です。中国工場は上海ロックダウンによる物流面の影響を受け、稼働率が4Qに比べて1Qは若干落ちましたが、現在は回復して高い稼働状況です。

Q: 営業利益変化要因 原価率変動分について

A: 上海ロックダウンの一時的な物流混乱、部材長納期化、原材料・エネルギー価格の高騰などによる影響です。また、売上高増加に伴う経費の増加も含まれます。

Q: 部材調達改善による売上高・利益の上積みへの期待

A: 部材調達の状況が良くなり、通常の水準に戻ってきますと、改善の効果が出てくることを期待しております。

Q: 機器 半導体 投資見通し

A: スマートフォンやパソコンの需要に弱さがみられています。一方、データセンターや車載向けの需要は堅調とみております。そのため、メモリー向けは投資がスローダウンする情報が出始めております。ロジック向けは引き続き堅調に推移するとみておりますが、市況に注意してまいります。

Q: 機器 空気圧機器 中国と東南アジアの設備投資動向

A: 中国は半導体向けや二次電池向けなどの需要が堅調です。東南アジアは、活動制限の緩和により自動車関連を中心に設備投資に動きが出ております。

Q: 機器 1Q ダイレクトドライブモータの需要環境

A: ダイレクトドライブモータの売上高は前年同期比で横ばいです。半導体関連などで引き続き堅調でした。

Q: 新工場建設について

A: 7月にプレスリリースしました北陸工場は、半導体の需要拡大を見据え、生産体制の強化を図るとともに、BCP対策の観点からも、今回、石川県小松市に建設いたします。主な生産品は半導体製造装置向けの機器商品で、自動化・省人化設備を積極的に導入し、2024年春頃に竣工の予定です。